

事業計画（茨城県稲敷市）

1. 土砂災害対策

- ①平成 23 年 8 月末までに、市内約 30 箇所の土砂災害危険箇所の点検を実施し、約 5 箇所で斜面の変状等を確認。降雨等により二次的な被害の恐れがある箇所等、必要に応じ土のう積みや観測等の応急対策を実施。（降雨の状況等を考慮し、随時再調査等を実施。）

- ②最大震度 6 弱を観測した稲敷市では、地震により地盤が脆弱になっている可能性が高く、降雨による土砂災害の危険性が通常よりも高いと考えられるため、県と気象台が連携し、平成 23 年 3 月より土砂災害警戒情報の発表基準を引き下げて運用していたが、降雨と土砂災害発生状況を考慮して基準を見直し、平成 24 年 5 月に通常基準への引き上げを実施。

2. 液状化対策

①地区名：東地区

②東日本大震災復興交付金を活用して、平成 24 年度から地質調査等により公共施設と宅地との一体的な液状化対策について調査・検討を開始。

今後、液状化対策について住民合意等が整った地区について事業に着手。

③平成 25 年度における成果

液状化対策事業実施のための地質調査、対策工法の検討、事業計画の策定。

④平成 26 年度の成果目標

事業実施のための揚水試験、試験施工を行い、住民合意の実施。

⑤事業完了予定年度

平成 29 年度

復興施策の工程表(茨城県稲敷市)

	H23				H24				H25				H26				H27				H28				H29				H30					
	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	以降					
1. 土砂災害対策	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">土砂災害危険箇所の点検等</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-left: 10px;">平成23年度完了</div>				(※) 土砂災害警戒情報の発表基準を引き下げて運用していたが、平成24年5月に通常基準への引き上げを実施。																													
1. 地盤沈下・液状化対策					地質調査等により公共施設と宅地との一体的な液状化対策について調査・検討												揚水試験・試験施工 試験施工期間より住民合意												住民合意が得られれば 事業実施					
																													平成29年度完了					